



やるき
ほんき き き さ き

木佐木

神奈川議会議員
日本共産党

2023.12.20
木佐木たまたま news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile
▶1984年 山梨県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

県議会第3回定例会で反対討論！



3つの議案の反対と請願を採択すべきと討論

ずさんな県有財産の

処分は認められない

今回諮られた議案の中に、2017年に交わされた厚木にある旧七沢リハ病院の土地建物の売買契約の変更がありました。その変更の理由は驚くべきもので、拙速でずさんな対応によって県有財産が本来よりも安く売却された可能性があります。

県は、急いで民間に土地建物を移譲し病院を開設してもらいたいとの事情から、売却する土地の測量等と買い手募集を同時並行で進めていました。

この土地には地積測量図がなかったため、募集条件は公簿に記載されている約5万㎡として、測量によって面積に変更があっても金額は変更しないというものでした。ところが、測量が終わってみると地積は約5.7万㎡と2000坪も増えていました。これは元の面積から14%も増えたことになります。この土地の売却代金は約10億円ですから、単純に考えて1億円以上の影響があったと考えられます。

処分を急ぐあまり、実際よりも小さい面積で金

額を算定していたことは、県民の財産である県有地の処分のあり方として見過ごせないので反対をしました。この議案に反対したのは共産党だけでした。

知事や議員の報酬引き上げに反対

人事委員会勧告に基づいて、県の一般職員の期末手当などが引き上げられますが、知事や議員のような特別職については、既に十分な報酬や手当が現在も支払われており、一般職員と同じように考えるべきではありません。

県は、財政が厳しいことを理由に、住民からの多くの切実な要望を後回しにしており、そのような中で、知事や議員などの特別職の手当を引き上げることは妥当とは思いませんので、これらの議案に反対をしました。議員報酬については、維新と2つの一人会派が、知事等の報酬については2つの一人会派が共産党とともに反対しました。

子どもの教育環境充実を願う

県民からの請願を採択すべき！

上記の議案のほかに、県民から出された「教育格差をなくし、ゆきとどいた教育を求める請願」や「教育費の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」、「脱原発、脱炭素と再生可能エネルギー政策についての意見書の提出を求める請願」について、所管常任委員会では不採択とされたので、採択すべきと訴えました。

県民の声に寄り添う県政に変えるため、引き続き議会でもたたかっていきたいと思っています。

